令和８年度 第２回おおさか環境科教材編集会議　会議要旨

1 開催日時　　令和８年９月 24 日（木曜日）　15 時 00 分～16 時 20 分

2 開催場所　　大阪市環境局　第２会議室

3 出席者

（アドバイザー）

久保　雅　英　　元大阪市小学校教育研究会社会部部長

西山　健一郎　　元公益財団法人地球環境センター専務理事

花田　眞理子　　元大阪産業大学大学院教授

（本市職員）

左海　克彦　　聖和小学校長

藤原　純司　　矢田西中学校長

秋田　耕佑　　環境科学研究センター研究員

（事務局）

環境局　上原企画課長

教育委員会事務局　田中初等・中学校教育担当課長

（代理出席　近藤指導主事・中川指導主事）外

4 議事・報告

（１） 小学校・中学校教材編集部会での意見について

（２） 編集内容について

（３） 使用状況のアンケート案について

5 議事要旨

・ 小学校・中学校教材編集部会での意見について、事務局から資料１の説明を行った。

・ 編集内容について、事務局から資料２の説明を行った。

・ 使用状況のアンケート案について、事務局から資料３の説明を行った。

【主な意見】

〈小学校・中学校教材変種部会での意見について〉

・ 部会において、子ども達が身近に感じる外来種による被害などの情報を増やした方がよいという意見があるが、セアカゴケグモやチャドクガなど、子ども達に健康被害のリスクがあるものやクビアカツヤカミキリのように今注意を払うべきものもある。

・ 「みつけた生き物はどうすればいいかな」という記載があるが、削除してもよいのでは。植物などは排除が難しい場合も多い。

・ すでにいる外来種ではなく、学校の外から生き物を持ち込むこと、捕まえた生き物を別の場所へ移動させることもだめだということの説明をいれてはどうか。指導の手引きに持ち込まないこと、なぜだめなのか、という点を記載してもよいかと思う。

〈編集内容について〉

- 食品ロスについて、全国の食品ロス、世界の食品ロスという数字があるが、大阪市の場合だけ「家庭からの」という記載がある。統一した方がよいのでは。
- なにわエコスクエアで AR や VR 学習ができるとあるが、環境学習施設とわかりにくいので、巻末の情報などについて追記したほうがよい。また、学校でも出前授業などで活用しており、貸出ができることなどもわかった方がよいかと思う。
- 「うめ立て処分地」と「うめ立て処分場」の表記は統一した方がよい。
- きれいな水質の指標種として、「コチ属」とあるが名前があるなら書いた方がよい。
- バッタの話のところに「みんな違ってみんないい」という記載があるが、バッタの話と多様性の話は異なると思うので誤解を招く場合もあるのではないか。
- バッタがもつ個性が保護色につながる、という記載は手引きにはあってよいと思う。
- 絶滅危惧種の状況について、レッドデータが 2026 に発行されているが、分類ごとに更新されており、すべてそろうのは時間がかかる。特定外来生物は今年更新されている。
- 大阪府のエネルギー消費の単位として「万 TJ」という記載があるが、一般的に馴染みが無い記号なのでわかりにくいので注釈をつけた方がよい。
- 温暖化について、土石流や熱波、台風、大雨など、身近な災害の写真や文章をいれてはどうか。大阪でのことではなくとも、今年ひどかった災害を身近に感じてもらうのもよいかもしれない。
- ネパールの氷河の写真も最近のもののほうがより大きく違いがよくわかるかと思う。
- 水草の写真について、「水草の下は生きにくい」という写真の意図が伝わりにくく、水槽を二つにわけたほうがよいのでは。

〈使用状況のアンケート案について〉

- 授業で使わなかった理由について、選択肢にしてはどうか。
- 使用しなかった理由について、選択肢にした場合は近い選択をしてしまう可能性が高い。
- 単元の中でどれが使いやすいかなど、先生方が求めているものがわかればブラッシュアップにつながるアンケートになってよいと思う、
- 小学 3 年生だと社会で該当する単元はないが、選択肢があれば使用の可能性がわかる。

6 問合せ先

大阪市環境局総務部企画課
住所：大阪市阿倍野区阿倍野筋 1 丁目 5 番 1 号　あべのルシアス 13 階
電話：06-6630-3212　FAX：06-6630-3580